

第1特集 鷹野雅史の

華麗なるクラシックの世界

— STAGEAフィルによるクラシック音楽の似顔絵帳 —

鷹野雅史によるクラシックの世界へようこそ！
クラシックを STAGEA で演奏するのが
楽しくなること間違いなしです。

はじめに……

「枯葉」「A列車で行こう」「ミステリー」……皆さん、よくご存知でしょう。時代や場所を超えて、今も世界中の人から愛され、数多くのミュージシャンたちによって演奏され続けているこれらの曲は、敬意を込めてこう呼ばれています。“スタンダード”。

それはジャズ・ポップスの曲のみならず、世界各国の民謡、宗教儀式に使われている讃美歌なども含まれます。永遠の命の輝きを持つ音楽を“スタンダード”と呼ぶのなら、100年、200年もの間、愛され演奏され続けている「クラシック音楽」というジャンルは、まさにスタンダードの集大成とも言えますね。

この特集は、スタンダードとして生き続けるクラシック音楽の、誰にでもわかりやすい「形（フォーム）」を見ていながら、その魅力と楽しさを探す、つまり「顔を見て」「どんなヤツだか」を知ろうという試みです。それを探っていくために、STAGEAフィルでどんどん似顔絵を描いてみましょう！

ちなみに、僕の最新曲集の1曲目「To begin with…STAGEAフィルの準備体操」は、かの「ラジオ体操第1」にインスパイアされた曲で、自分の大好きなクラシック音楽の似顔絵集です。曲集を入手した方々は、ぜひそれも演奏して楽しんでいただけたらうれしいですが、この特集を読むと、この曲をどんな絵の具（音色）を使ってどういう筆使いをしたか（アレンジのポイント）もわかるかも。ぜひ、参考にしてくださいね！

（たかの・まさし）ヤマハ（株）本社専属エレクトーンプレイヤー、名古屋芸術大学准教授。“STAGEAフィルハーモニー”の温かみあるワンマンオーケストラサウンドには定評があり、幅広いレパートリーをこなす豊かな音楽性と確かな演奏力で観客を引きつけてやまない。